

今、何の病気が流行しているか！

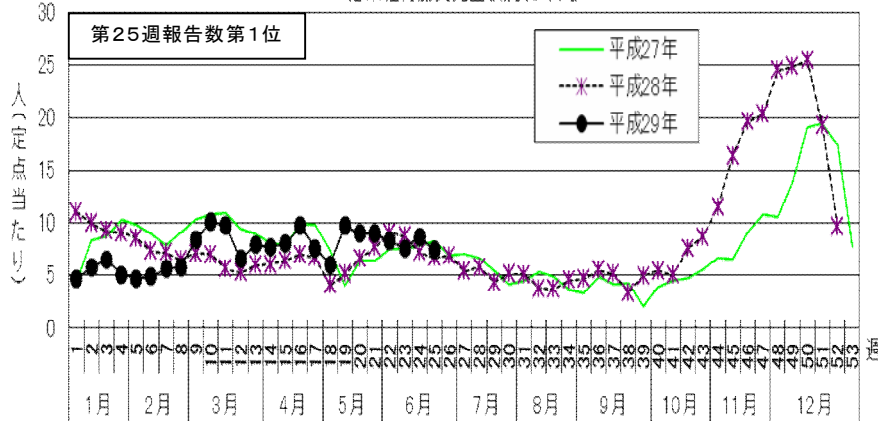
【感染症発生動向調査事業から】

平成29年6月19日（月）～平成29年6月25日（日）〔平成29年第25週〕の感染症発生状況

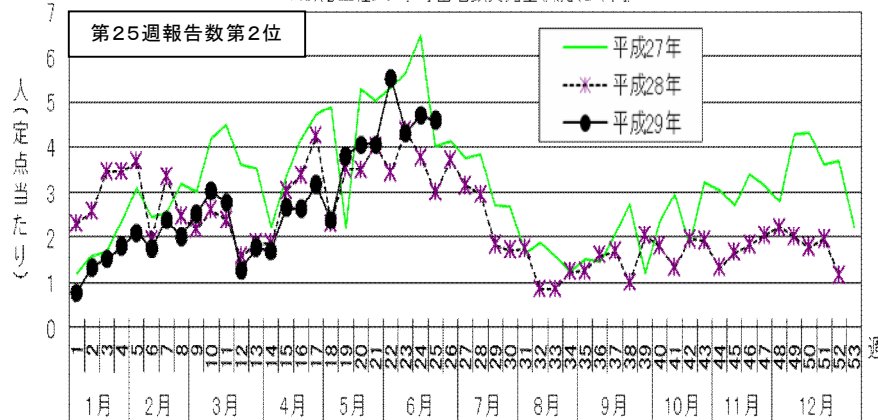
第25週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.39人と前週（8.64人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.58人と前週（4.69人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.56人と前週（3.22人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

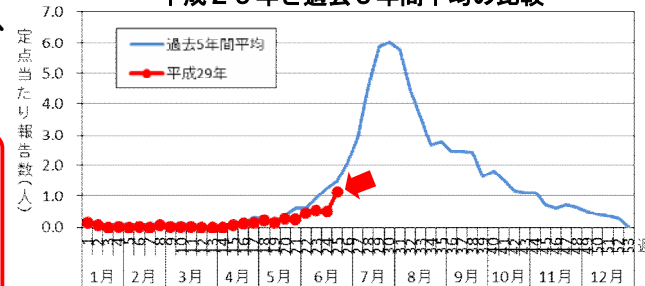


夏季に流行する感染症～手足口病～

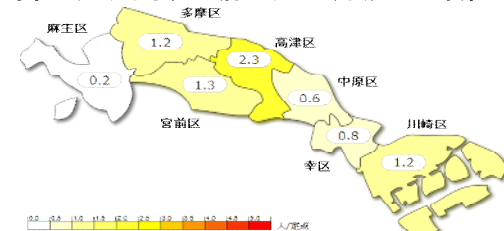
手足口病は、子どもを中心に主に夏に流行するウイルス感染症です。川崎市においては、平成29年第25週（6月19日～6月25日）の定点当たり患者報告数が1.14人と前週から増加しました。例年、報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めており、7月～8月頃に流行のピークがみられます。手洗いやタオルの共用を避けるなどの予防対策を徹底しましょう。

軽症のことが多いですが、口の中の水疱が痛くて十分に水分が摂れず、脱水症状を起こすことがあるので、こまめな水分補給が重要です。

川崎市における手足口病の発生状況
—平成29年と過去5年間平均の比較—



川崎市における手足口病マップ（平成29年第25週）



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)

手足口病とは？



- 感染経路
飛沫感染、経口感染、接触感染
- 潜伏期間
3～5日間
- 主な症状
発熱（38℃以下のことが多い）、
水疱性発疹（手のひら、足の裏、口の中）
- 合併症
髄膜炎、脳炎等